

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年10月15日

事業実施地区	上松区
事業名	こどもみまもりたい
団体名及び 代表者名	(団体名) 上松区 (代表者名) 佐野 忠文 (連絡先)

## ■事業概要（選考委員会の助言を含む）

<p>小学生の学校の下校時間にあわせ、「こどもみまもりたい」として総勢40名体制とする。</p> <p>これまでの見守り箇所を2か所増設し4か所とする。</p> <p>今までの見守りは「防犯女性部・男性部」は名称がジェンダー違反と指摘があった。</p> <p>よって、これまでの防犯グッズは廃棄し、新たにタスキ・ベスト・防犯ライトを作り直し心機一転、区の総力を上げ、この危険な時代から子供たちを守り抜く。</p>	<p>【事業完了日】 令和7年10月15日</p> <p>【総事業費】 311,300円</p> <p>【補助金額】 311,000円</p>
--	---

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>子供たちの挨拶の声が大きくなり、近所の人達も一緒に見守りをして、防犯の意識が高まってきたようだ。</p>
---

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

## ■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容			○	
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	近所の人たちがすごく協力的になった。			

## ■今後の取組予定

<p>今後も、見守り日数を増やし、より安全を確保する。</p>
---------------------------------

# 支所発地域力向上支援金 事業評価(第二地区)

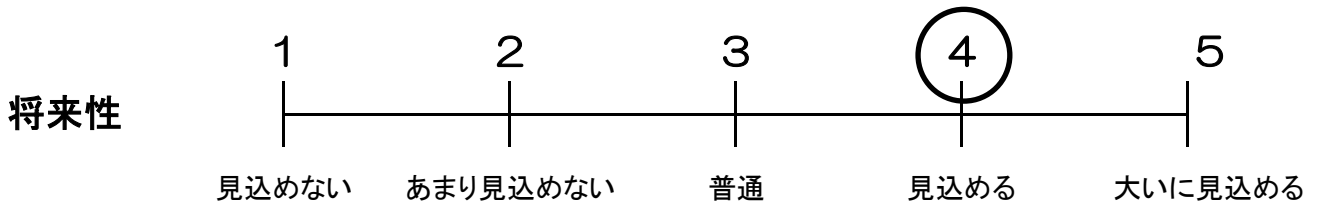
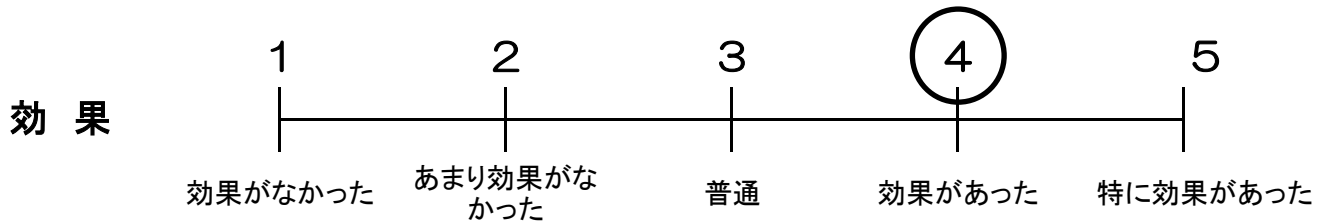
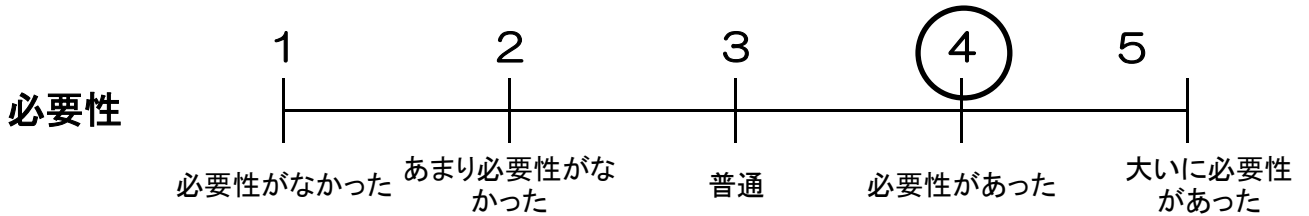
令和7年10月22日

事業名	子ども見守り活動事業
-----	------------

団体名	上松区
-----	-----

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	安全安心活動
------	--------



課長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

近年、全国で子供が登下校中に犯罪被害に遭うケースがみられ、こうした犯罪被害を減らすためには、地域全体で、登下校中の子供たちの見守り活動をするすることが欠かせない。

こうしたことから、上松区では以前から小学校の登下校時に合わせて、見守り活動をしているが、見守り隊の名称が、「防犯女性部・男性部」であり、ジェンダー違反との指摘があったことから、活動時に着用するタスキやベストを更新したもので、これを機会に見守り場所を2か所増やして、活動の強化を図っている。また、新たに合図灯を導入したことにより、安全確保と効果的な誘導ができると感じる。

今後においても、区民の皆さんの協力により地域の安全確保に取り組まれ、更には、住民同士のつながりが強化され、孤立防止や地域への愛着、地域コミュニティの活性化にも貢献ことを期待する。

なお、物品については後任者への引継ぎを確実にを行うなど、適切な管理に努められたい。

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和8年3月30日

事業実施地区	長野市 第二地区 湯谷
事業名	湯谷神楽囃子保存会 創立30周年記念事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 湯谷神楽囃子保存会 (代表者名) 会長 村田 昌隆 (連絡先)

## ■事業概要（選考委員会の助言を含む）

区秋季祭典行事において保存会創立30周年を記念して、湯谷区章等が焼印された木札を作成し、祭典関係者及び育成会6年生全員に配布し地元祭典の士気を高めることと、令和8年3月29日に開催される記念式典にて30周年活動冊子を配布することにより、活動の啓発を行うものである。当初活動冊子の作成部数は100部を予定したが、選考委員会での助言により200部に増刷し、より広く活動啓発を行うこととする。	【事業完了日】 令和8年3月29日 【総事業費】 96,160円 【補助金額】 96,000円
---	--

## ※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

令和7年9月22・23日に執り行われた湯谷区秋季例大祭には祭典関係者（約50名）及び育成会6年生全員（約15名）が新木札を胸に、祭典を大いに盛り上げることができた。また30周年活動冊子は、湯谷区民・育成会及び記念式典参加者（約150名）に配布し、保存会の歴史と地元の伝承文化財としての理解を広めることができる。
---

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

## ■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果		○		
特記事項 (評価理由等)	冊子作製が一ヶ月ほど遅れたが、活動予定を着実に進めることができた。成果品に対しても上々の評価を得ることができ、地域内での啓発に効果が期待できると思われる。			

## ■今後の取組予定

次の目標である40周年に向けて、地元のご理解を得ながら新木札で心ひとつに邁進していくことができそうである。次回のながの獅子舞フェスティバルでも新木札を胸に参加予定としている。 地元に関わる団体活動を末永く続けていきたい。
---

## 支所発地域力向上支援金 事業評価(第二地区)

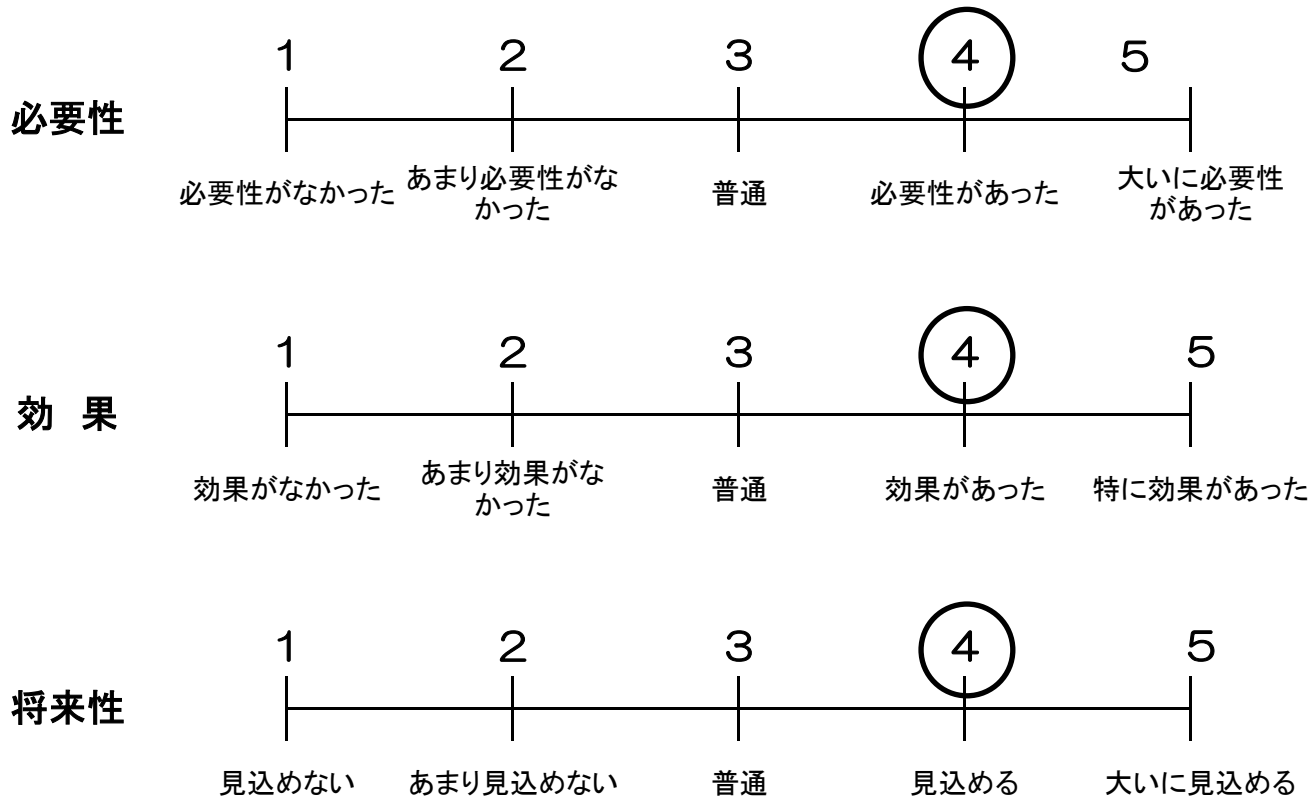
令和8年3月30日

事業名	湯谷神楽囃子保存会創立30周年記念事業
-----	---------------------

団体名	湯谷神楽囃子保存会
-----	-----------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	教育文化活動
------	--------



## 課長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

湯谷区の住民で組織される「湯谷神楽囃子保存会」は、戦後の後継者不足などで担い手が減り、一時は途絶えていたが、平成7年に区民有志が復活させ、今年度30周年を迎えた。

本事業では、この先も会の活動が途絶えることなく、つないでいきたいという思いで、区章を焼印した木札を区秋季祭典行事に祭典関係者や育成会(小学6年生)全員に配布して、地域一丸となって祭典の士気向上を図った。また、30周年活動冊子を作成し、区民や育成会等に配布することにより、保存会の歴史と伝承文化としての意義を広く周知する機会となった。

今後も40周年に向け、地元にも根ざした活動が末永く継続できるよう、次世代への確実な伝承に向けた取り組みが期待される。

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年9月8日

事業実施地区	東町区
事業名	祭りを盛り上げる♥
団体名及び 代表者名	(団体名) 東町区 (代表者名) 井口 優子 (区長) (連絡先)

## ■事業概要（選考委員会の助言を含む）

<p>1) 7月12日、ながの祇園祭「東町会所」と、その隣のスペースに七福太鼓による「太鼓演奏ペース」を設置。第二住自協からお借りしたテントを二張り使用。暑い日で助かりました。お借りしたテントは丈夫で軽く、設置もワンタッチで簡単でした。</p> <p>2) 8月26日の武井神社御射山祭で、新しい試みの「こども広場」設置。第二住自協のテントを二張り使用。</p> <p>3) 武井神社御射山祭の演芸大会観客スペースの右端に、「東町女性用スペース」にテント設置。支所発地域力向上支援金で購入したテントがぎりぎり間に合いました。</p> <p>選考委員会のご助言は「安物ではない、10年は持つしっかりしたテントを購入すべき」。第二住自協所有と同じテントを購入しました。</p> <p>購入したテントの写真は別途添付。</p>	<p>【事業完了日】 令和7年8月26日</p> <p>【総事業費】 100,880円</p> <p>【補助金額】 93,000円</p>
--	---

## ※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>1) 東町会所に加えて、太鼓演奏を行ったため、町内のみならず、観光客の方にも楽しんでいただけました。暑い日でテントは必須でした。東町屋台蔵も開けて、皆さんに屋台を見て頂けました。来年のながの祇園祭では、東町屋台を巡行させますが、そのプレオープンになったかと。</p> <p>2) 武井神社御射山祭での新しい試みの「こども広場」は、用意したヨーヨー釣りのヨーヨー80個、光るおもちゃなども完売。大成功でした。加えて、参加した東町・大門町育成会の方たち（大人4人、子供3人）も楽しかったとのこと。</p> <p>3) 東町女性用スペースを設置したことにより、神輿を担がない女性陣（いつもは神輿宮入後の直会準備までいったん解散になり、家に帰っていました）12名も祭りに参加でき、おしゃべりを楽しみ、結束を強められました。加えて、毎年出店している田町のビールに食べ物も東町女性陣で購入して、お隣の田町との地域連携も強めることができました。</p>
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

## ■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果	○			

特記事項 (評価理由等)	こども広場で用意したゲームらが完売し、また予想以上に、育成会の参加者に、東町女性陣が祭りを楽しめたこと
-----------------	---

#### ■今後の取組予定

1) 来年の「ながの祇園祭」では、東町は年番町のため東町屋台を巡行します。東町会所は設置します。来年も猛暑が予想できます。テントが大いに役立ちます。

2) 来年の武井神社御射山祭でも同じく「東町女性用スペース」を設置予定。

「こども広場」は来年の東町・大門町育成会の構成人数によります。

「東町マルシェ」を今年も作りたと思っていたのですが、超えるべきハードルが多々で、準備時間が足りず、実施できませんでした。来年は屋台巡行で忙しく、どこまで新規事業ができるかわかりません。

どのような状況でも、テントは大いに役立つと思います。

単に暑さをしのぐだけでなく、人々を集わせる象徴となります。

# 支所発地域力向上支援金 事業評価(第二地区)

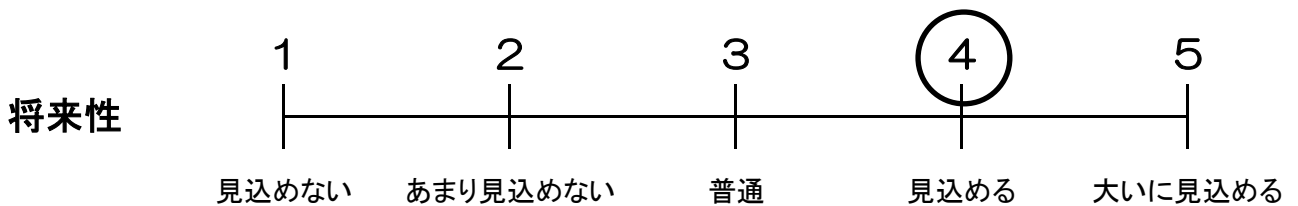
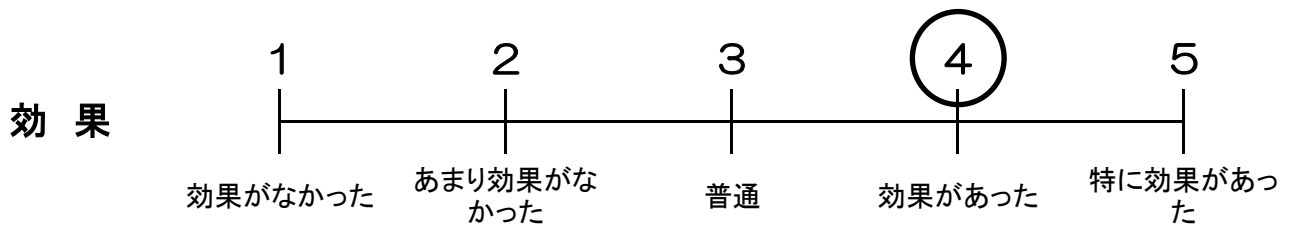
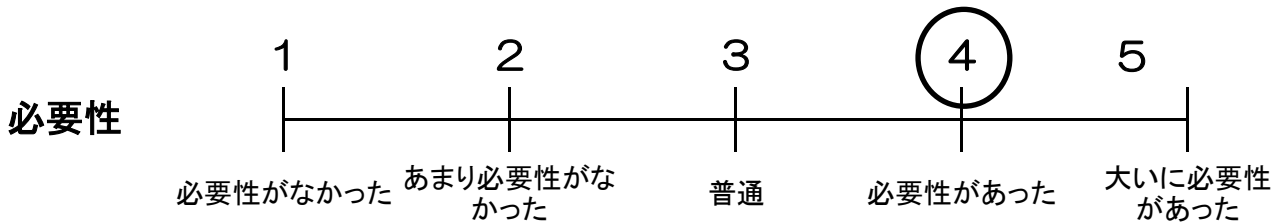
令和7年9月16日

事業名	祭りを盛り上げる！
-----	-----------

団体名	東町区
-----	-----

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	教育文化活動
------	--------



課長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)
善光寺門前町に位置する東町は、「ながの祇園祭」や「武井神社御射山祭」などの伝統的なお祭りがあるが、暑い時期に開催されるため、太鼓演奏などの催事等における熱中症対策や雨天時等のテントは必須となっている。
しかし、今までのテントは昔ながらの鉄パイプの組み立てテント1張りだけであり、重量があるため、役員の高齢化もあり、運搬や組み立てが重労働であった。
今回導入したテントは、オールアルミで軽く、ワンタッチで容易に組み立てができるため効率的であった。また、新たに「子ども広場」をテントを活用して開催したところ、近隣の住民の参加もあり、交流が図られ、たいへん好評であった。
今後においても、町民の皆さんの協力により伝統文化の継承と地域の活性化に取り組まれることを期待する。
なお、テントについては他のイベントなどにも有効活用を図るとともに、適切な管理に努められたい。